

南山大学 名古屋キャンパス R棟



所在地：愛知県名古屋市長和区山里町18
 建築面積：2,453.55㎡
 延床面積：11,528.02㎡
 構造・規模：鉄骨鉄筋コンクリート・鉄筋コンクリート・鉄骨造、
 陸屋根 地下1階付7階建
 施主：学校法人 南山学園
 設計・施工：清水建設㈱
 完成年月：平成23年2月16日 新築

S157

名古屋市の文教地区となっている昭和区に位置する南山大学。短期大学の名古屋キャンパス移転に伴って建設されたR棟は、キャンパス内の土の色を表現したアースカラーが採用され、照明は環境に配慮したLEDが多用されています。

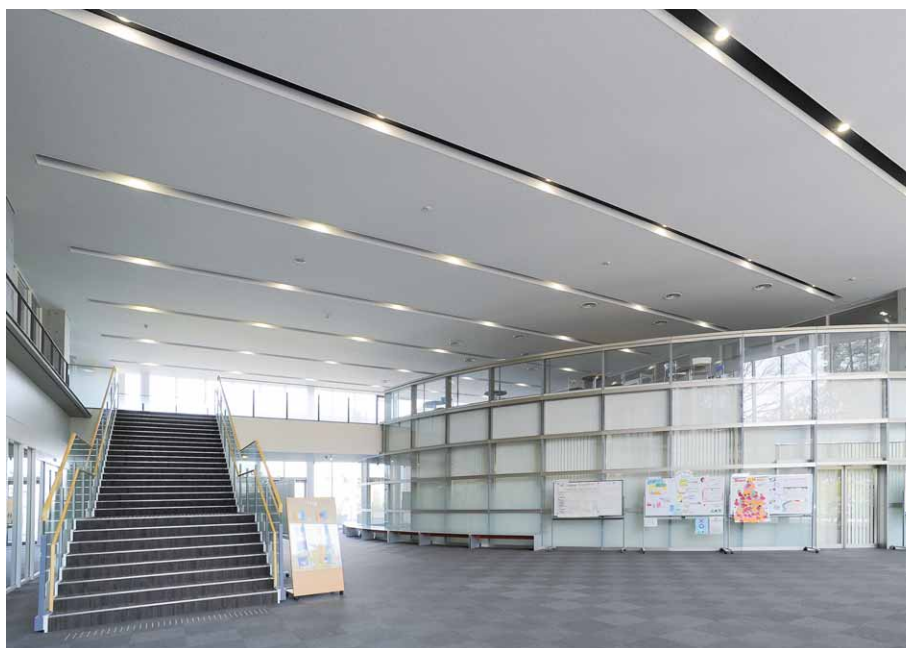
語学教育・国際交流の拠点として、キャンパス内の外国語関連施設を集約

男女共学の大学としては中部圏唯一のカトリック系ミッションスクールである南山大学。1949年の開学以来60余年を経た現在は、短期大学部を含めて8学部17学科を擁する総合大学となっています。平成23年4月、南山短期大学が「南山大学短期大学部」に名称変更し名古屋キャンパスに移転するのに合わせてR棟が建設されました。短期大学部教員研究室のほか、キャンパス内に分散していた英語教育センター、ワールドプラザ、国際教育センターなどが集約された語学教育・国際交流の拠点施設となり、1階には500名収容のフラッテンホールが設けられています。

エントランスなどの意匠天井内にLED照明を採用し、省エネを実現

2,3階吹き抜けで開放的な2階エントランスホールは、これとつながる3階屋内テラスとともに、好印象を与える極めて重要なR棟の導入部。このため照明は、天井高さ6.9mのエントランスホールでは、ブラックアウトしたスリット天井意匠の内部に大光量のLEDダウンライト6000シリーズ(器具光束5,560lm、消費電力65W)を配列し、明るくすっきりと見せながら、消費電力の抑制を図っています。エントランスを見下ろせる天井高さ2.8mの3階屋内テラスの照明は、エントランスとの連続的な空間イメージを創出するため、エントランスホールと同様のスリット天井意匠にLEDダウンライト2000シリーズ(器具光束2,080lm、消費電力26W)を採用し、待合わせ・休憩スペースとしてリラックスした光環境とし、平均照度210lxが得られています。また、各階の廊下には、LEDダウンライト900シリーズ(消費電力13.1W)を採用し、学生同士がすれ違う際に顔がよく見える明るさの確保はもちろん、気軽に会話が喚起できる雰囲気をつくり出しています。

1階にある500名収容のフラッテンホールのロビーは、ホールの利用者の休憩場所であるほか、絵画などの展示にも利用可能な多目的スペースとしています。このため、ベース照明にLEDダウンライト2000シリーズを採用し、多目的に対応できるようにLEDスポットライトも随所に使用しています。



スリット天井意匠の内部にLEDダウンライト6000シリーズを配列した2階エントランスホール



LEDダウンライト2000シリーズによる3階屋内テラスの照明



LEDダウンライト
2000シリーズ

LEDダウンライト
6000シリーズ



LEDダウンライト900シリーズを用いた廊下の照明



ベースライトにLEDダウンライト2000シリーズを、随所にLEDスポットライトを設置したフラッテンホールのロビー



1階の階段通路に配列したLEDダウンライト900シリーズ

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
館内	LEDダウンライト6000シリーズ	LEDD-60001MW-LD9	256	LED 消費電力:65W
	LEDダウンライト2000シリーズ	LEDD-20001MW-LS9	98	LED 消費電力:26W
	LEDダウンライト900シリーズ	LEDD-70001FW-LS9	446	LED 消費電力:13.1W